

科目コード	41128	科目ナンバリング			主な使用言語	日本語	
授業名	情報システム演習				担当者	米岡 英治	
基本情報	年次	2年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素 03実験・実技、体験 05即時応答 16 振り返り用紙と応答
基本情報	曜日時限	木曜2限	関連資格			履修可能学科等	E Pe Pc C W F N M
授業の概要	企業は多くの情報を管理・活用しています。他企業や顧客から情報を入手するとともに、顧客への情報発信も行っています。これらの仕組みの開発は、一部の専門技術を持った人達だけの業務ではありません。情報を使う側の業務担当者が開発に携わることも多くなっています。今後DX（デジタルトランスフォーメーション）が進展していく中で対応していくためには、さまざまな事柄をつなぎ合わせ、ICTを活用していく必要があります。 本科目では、業務の自動化として注目されているRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の利用、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を活用したWebサイト作成、データ処理を行うBIツール（ビジネスインテリジェンスツール）について学びます。 また、担当教員の実務経験から考えられる内容も踏まえて、今後の進展に関する考察をしていきます。						
キーワード	情報システム、情報管理、DX、RPA、CMS、BI						

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	DX時代においてさまざまな情報管理や情報発信に対しての変革が必要なことを理解し、今後どのような取り組みが必要か検討することができる。	評価方法（知識・技能）	リフレクシオンノート、レポート	評価割合（知識・技能）	40%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	授業で扱った内容に基づいて、Webサイト、ロボット等を作成できる。	評価方法（思・判・表）	課題作成、提出物	評価割合（思・判・表）	60%
学修に主体的に取り組む態度	Webサイト、ロボットの作成状況と作成内容から、「思考力・判断力・表現力」とあわせて評価する。 他の学生の学修に支障をきたすような迷惑行為がみられた場合には、厳重注意および減点の対象とする。				評価割合（学修態度）	0%
実践的ボランティア	直接的な評価対象とはしない。				評価割合（ボランティア）	0%
公正性	直接的な評価対象とはしない。ただし作成したWebサイトなどに人権侵害・差別的など著しく公正性を欠く内容があった場合は、減点や厳重注意の対象となるので注意すること。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	【第01回】 イントロダクション 授業概要、情報システムとは 【第02回】 DX（デジタルトランスフォーメーション） 【第03回】 RPA基礎（1）RPA概要、環境設定 【第04回】 RPA基礎（2）メモ帳操作、ブラウザ操作ロボット作成 【第05回】 RPA基礎（3）Excel操作ロボット作成 【第06回】 RPA基礎（4）応用ロボット作成（1） 【第07回】 RPA基礎（5）応用ロボット作成（2） 【第08回】 CMS基礎（1）Webサイト作成概要（CMS）、環境設定 【第09回】 CMS基礎（2）管理設定、Webサイトテーマ設定、基本構成 【第10回】 CMS基礎（3）記事構成、設定 【第11回】 CMS基礎（4）Webページ作成（1） 【第12回】 CMS基礎（5）Webページ作成（2） 【第13回】 BIツール基礎（1）BIツールとは 【第14回】 BIツール基礎（2）データ処理とレポートの出力 【第15回】 全体振り返り、ツール連携の検討
使用テキスト	資料をそのつど配布します。

予習・復習のポイントと参考文献・資料等	配布資料について復習するとともに、新聞・雑誌などで企業動向に注意しておくこと。 自身のPCに環境を構築することで、授業時間外においても動作確認等を行うことが望ましい。 講義において参考資料を指示します。
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡すること。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに研究室で対応する。曜日・時間等については講義時間に案内する。
留意事項	課題作成に対するフィードバックを授業時間に口頭で行います。 WindowsPCを使用します。持参すること。 MacのノートPC利用者は事前に相談すること。 BIツールではgoogleアカウントを使用します。 PC環境によっては、利用アプリの制限が出ることもある。その場合は、受講内容に関する調整を行う。